

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブキャンディ</p>
<p>取組の名称</p>	<p>学童クラブ どれみキッズ</p>
<p>実施場所</p>	<p>学童クラブどれみキッズ、川崎認可保育所すきっぷ保育園、認定保育園すきっぷドレミ園、企業主導型保育すきっぷソラ園、生活クラブ高津センター</p>
<p>対象地域</p>	<p>宮崎台周辺地域</p>
<p>対象地域の 特色・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街で高齢世帯とともに子育て世帯が多い ・核家族が多く、共働きが増えている。転勤等での転入家庭も多く、地域とのつながりが希薄になりがちな特徴があります。
<p>取組の趣旨・目的</p>	<p>「まちづくり事業」を立ち上げ、豊かなコミュニティを目指して「参加型子育て」を進めるしくみを作り、「わくわくこどもカレッジみやざきだい」をたちあげました。</p> <p>「体験&学び&出会い チャンスと居場所づくり」をテーマに、地域の人と人をつなぐ取り組みを行います。講師・参加者は皆、この地域に住んでいる人どうしです。</p>
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 私たちは子どもが地域に見守られながら育っていくための挑戦として、「まち全体」をキャンパスにたとえ、そこに暮らす「人」や日常的な様々な地域資源を活かして、「子育て」を豊かにし、みんなで安心して子育てを楽しむまちづくりをめざしています。本活動を「ワクワクこどもカレッジ みやざきだい」と名付け、活動しています。 ➤ 2020年度は、当法人のメンバーが、興味・関心のあるテーマ毎にグループにわかれ、それぞれ講座などを企画しました。主に10～12月に「こどもフェス」と名付けて実施し、

ホームページやチラシ配布などで地域へも参加を呼びかけました。コロナウィルス対策は重要ととらえ、オンライン、完全事前予約制、参加者の総入れ替えなど、開催方法にも工夫しました。

- 常時開催企画として、こども食堂、ベビーマッサージ、離乳食講座、また例年実施している、クリスマスコンサートも、コロナウィルス対策をとりながら、実施しました。

- ・こども食堂

月2回。コロナウィルスの感染状況を見ながら、リアル開催のみだけでなく、事前に予約を受けテイクアウトのみでも実施しました。同時に服やおもちゃの交換会も実施しました。リアル開催：14回。テイクアウトのみ：5回。

- ・ベビーマッサージ

奇数月に1回実施。緊急事態宣言以外の期間に、オンラインで実施。5回実施。

- ・離乳食講座

参加者は各回2名に限定。3回実施。

- こどもフェス 10～12月

- ・ママパパのための発達支援講座

地域療育センターのソーシャルワーカーの方を講師にお迎えし、オンラインで実施。活発に質問も出されました。

- ・公園で遊ぼう

園近隣の公園で3回実施。「泥で遊ぶ」「木の葉・木の実・石で遊ぶ」「宝探し」とテーマを決めました。地域からの、連続して参加したリピーターもいました。

- ・作って遊ぼう、親子で遊ぼう

絵具で手形足形アート、風車づくり、手作り楽器。未就学児の親子を対象に、完全入れ替え制で実施。

- ・Tシャツでエコバッグづくり

小学生を対象に、着なくなったTシャツでエコバッグを制作。

- ・オンライン おうちで味噌づくり

材料を当園で用意し、オンラインで味噌づくりを体験できる講座を実施。

- その他

- ・初めての子育て応援ブック

園利用者へ、子育てにおける悩みなどを聞き取り、それをもと

	<p>に、保育者ならではの視点でオリジナルブックを制作中。この春に発行予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本のとびら <p>園のホームページにて、おすすめの絵本を紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「外国にルーツのある子ども」をテーマに、グループメンバーが講座や本などで学習。2021年度は学んだことをアウトプットしていく予定。 		
参加者の年代	大人：子育て世代 子ども：乳児～小学生	定員 (1回あたり)	講座により様々。 2組、10組、12組、5名など
実施頻度	講座による。 月1回、3か月に1回、年1回など	活動日数 (年間)	19日
スタッフ体制	ワーカーズ 42名。 それぞれ企画を担当しました。		
連携する団体・ 連携の手法	<p>① かわさき生活クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の高津区、宮前区の組合員へチラシを配布。この活動の周知と参加を呼びかけました。 ・配送センターの部屋を借り、味噌づくりの講座やクリスマスコンサートを実施。 ・生活クラブの組合員と「親と子のふれあいひろば」を実施。地域の親子の交流の機会を設けました。 <p>② 地域住民へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもフェスのチラシを配布し、参加をよびかけました。 		
取組実施により 見込まれた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・園利用者以外に、地域からの参加者もあり、その後、当園が主催するオンライン講座への参加につながりました。 (参加人数 延べ550人) ・「こども食堂」は、コロナウィルスの影響もあり、リアル開催は計画より少なくなりました。しかし、テイクアウトの申し込みも継続してあり、地域に必要とされていることがうかがえました。感染状況を見ながら、同時にバザーなども実施し、地域の交流の場として活用できる可能性があります。 		